

# 革新力

3月下旬、ドイツ・挑戦だった。それを可  
 フランクフルトで開催 能にしたのが、二十代  
 された世界最大規模の を中心としたメンバー  
 国際見本市「ISH2 たちの気力と体力、チ  
 025」。TOTTOは、ームワーク。自分自身  
 温水洗浄便座ウォッシュ が実験台となり、正確  
 レットと便器が一体と な場所に湯を当てるた  
 なった商品（タンクレ めに、便座の中央に針  
 ストイレ）の最上位グ 金を張り、狙った位置  
 レード「ネオレスト」

や関連商品の海外向け 商品に関してカラーバ  
 リエーションを強化 に紙を貼って数値化し  
 し、水回り全体の空間 た。洗浄水の温度につ  
 コーディネートを提案 いては、0・1℃ずつ  
 した。 温度を上げては自分の  
 ■「おしりを洗う」新 体にあて、適切な水温  
 しい生活習慣への挑戦 を導き出した。  
 「ウォッシュレット」 多くのモニターが必  
 は、1980年の発売 要だった。開発チーム  
 から45年。TOTTO株 の熱意にのべ300人  
 式会社の登録商標だ。 以上の有用なデータが  
 「おしりを洗う」とい 集まった。洗浄する温  
 う新しい生活習慣への 水は38℃、便座の温度

①「ISH2025」のTOTTOブース。独自のクリーン技術と、海外向けに強化したカラーバリエーションを中心に展示②ウォッシュレットの技術革新を進めるウォッシュレット開発第一部長の檜皮康一郎氏③TOTTO提供



レのきれいを保つ びだったが、いまは3  
 「きれい除菌水」の開 ・8歳にまで減少。一  
 発に携わった。「『き 方、ウォッシュレットも、  
 れい除菌水』は、水に 少ない水できれいに  
 含まれる塩化物イオン しりを洗うニーズに  
 を電気分解してつくら 応してきた。  
 れる除菌成分を含む水 流速の異なる水を交  
 で、薬品や洗剤を使わ 互に連射しておしり洗  
 ず、水からつくられる。 浄を水玉吐水にする  
 時間が経過すると普通 「ワンダーウェーブ洗  
 の水に戻るので環境に 浄で節水を実現。現在  
 もやさしい。エコと快 では水玉に空気を含ま  
 適さの両立は、TOT せて大粒化し、おしり  
 Oならではの技術」と 洗浄のたっぷり感をさ  
 話す。霧状のミストに らに向上させている。  
 国したらつきたい、 の声も多いという。  
 檜皮さんは、ベトナ ム工場を開発を担当し  
 た。「日本のトイレの 機能はナンバード  
 と思う。テクノロジー の開発を先頭で続けな  
 がら、デザインなどを 地域のニーズにあっ  
 もので、さらにグローバ 展開を進めたい」。  
 トイレは、どこまで 進化するのか。  
 TOTTOは、「きれ  
 いと快適・健康」「環  
 境」「人とのつながり」

## 進化するウォッシュレットでグローバル展開加速 TOTTO

は36℃、乾燥のための 御。しかし、精密機械  
 温度は50℃、ノズルか のため、温水がかかる  
 ら噴出する噴水角度は と、漏電の可能性もあ  
 43度といった「黄金比 った。「開発者たちは、  
 率が定まった。 風雨にさらされなが  
 率」が定まった。 雨水にさらされなが  
 温水を適温に維持す ら、点滅する交通信号  
 機をヒントに、ICをく。TOTTOウォッシュ  
 樹脂カバーで覆い、こ レット開発第一部長  
 の問題をクリアした。 の檜皮康一郎氏は、ウ  
 常識にとらわれない柔 オッシュレットのノズ  
 軟な発想と新商品に懸 ル、便器のポウル面、  
 ける熱い想いにより、 便座の裏面など、トイ  
 量は2002年当時8 と快適さは好評で、帰  
 返し。 トイレの進化は続 便器洗浄では、渦を  
 巻くように流れる「ト する。インバウンドの  
 欧州、中国、アジアな リに計測結果と健康習  
 慣に関するレコメンド が伝わる商品を開発中  
 だ。 未来のトイレは、未  
 病対策や健康維持にも